

(様式2)

動物実験計画書（更新）

(西暦) 年 月 日

宮崎大学長 殿

動物実験責任者

所属（学部学科等）

申請番号 _____

職名

氏名

内線番号

1. 動物実験課題名（具体的に記入してください。）					
2. 実験期間(西暦) 開始予定 年 月 日、 終了予定 年 月 日					
3. 動物実験実施者（動物実験に関与する全ての者の情報を記入してください。） ※：計画書の実質作成者(委員会から内容等の問い合わせができる方)に●をつけて下さい。					
前年度からの変更 ☐ 有 ☐ 無					
*	氏	名	所	属	職 名 等
※ 学生実習等に関する名簿 ☐ 有 （実習等参加者が決定次第すぐに提出すること）					
4. 動物実験の目的(目的の概要がわかるように記入して下さい。実験の具体的手法はこの欄ではなく 9-(1)、(2)等に記入してください。目的の変更は新規での申請となります。)					
5. 使用 動 物					
前年度からの変更 ☐ 有 ☐ 無					
	動 物 種	系 統	微生物学的品質	上記実験期間中 使用予定頭数	導 入 元
①					
②					
③					
④					
使用動物数(単位:頭)の算出根拠(文言での簡潔な説明に加え動物種・系統ごとに計算式もしくは表を用いて示してください。) (計算式の例：マウスAもしくは①：10 頭× 2 群×10 回=200 頭 マウスBもしくは②：10 頭× 3 群×10 回=300 頭 計 500 頭)					
遺伝子改変動物の導入 ☐ 組換え動物の導入無し ☐ 新規導入有り(☐ 国内譲渡・ ☐ 国際譲渡) ☐ 既に導入済み 改変遺伝子名： 譲渡元：			6. 使用施設（飼育場所、実験場所にわけて記入。宮崎大学長の承認を受けた施設名を記載してください。） 飼養管理施設 実 験 室		
7. 倫理的基準に基づいた動物実験の分類（カテゴリー） 前年度からの変更 ☐ 有 ☐ 無 ☐ A：生物個体を用いない実験、あるいは微生物を用いた実験。 ☐ B：脊椎動物を用い、動物に対してほとんど あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験。 ☐ C：脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 ☐ D：脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛み（長時間持続するもの）を伴うと思われる実験。 ☐ E：無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近い またはそれ以上の痛みを与えられると思われる実験。					
8. 特殊実験区分 前回申請時からの実験方法等（新規計画書様式の項目 9-(1)、9-(2)）の変更 ☐ 有 ☐ 無		1. ☐ 感染実験 （接種微生物 _____） 安全度分類: ☐ BSL1 ☐ BSL2 ☐ BSL3 2. 遺伝子組換え動物 ☐ 作成実験 ☐ 接種実験 （区分: ☐ P1A ☐ P2A ☐ P3A） 3. ☐ 放射性同位元素使用実験 ☐ 放射線使用実験(飼育場所: _____ 使用核種: _____) 4. ☐ 発癌性物質投与実験 ☐ 重金属投与実験 ☐ 環境汚染物質投与実験 ☐ 毒劇物等投与実験 (投与物質名 _____) 5. ☐ 細胞等の生体材料移植・接種実験(細胞等の遺伝子組換え ☐ 有り ☐ 無し)			

9. その他必要または参考事項	飼養保管施設・実験室の承認状況に加えて、過去の動物実験計画書承認実績、学内の関連委員会（組換え等）への申請状況なども適宜記入。 ☐ 項目 6 に記入した飼養保管施設は、宮崎大学長の承認を受けた施設である。 ☐ 項目 6 に記入した実験室は、宮崎大学長の承認を受けた施設である。 ☐ 遺伝子組換え実験安全委員会にて承認済み 承認番号（ ） 遺伝子組換え実験の承認期間（ 年 月 日まで ） ☐ 遺伝子組換え実験安全委員会申請中（ 年 月に提出済） ☐ 医の倫理委員会にて承認済み 承認番号（ ） 医の倫理委員会の承認期間（研究実施期間）（ 年 月 日まで ） ☐ 動物臨床研究倫理委員会にて承認済み 承認番号（ ） 動物臨床研究倫理委員会の承認期間（動物臨床研究期間）（ 年 月 日まで ） ☐ その他特記事項（具体的に記入）（ ）
------------------------	--

前回許可を受けた実験計画を変更せず継続して実施する場合、本書式に経過報告書を添えて更新申請を行って下さい。